

# きれいに暮らす

奈良県スタイルジャーナル

VOL.

26

2023 DECEMBER

奈良らしい  
景観を目指して



会長  
橋二平さん



副会長  
堀川清司さん



前々会長  
北皖一さん

# 新口町自治会

にのくちちよう

(橿原市)



駅前ロータリーで花の植え替えを行う会員の皆さん

## 町内を「花いっぱい」にしたい！ 独自の植栽活動で町を明るく彩る

駅前ロータリーで花壇の植栽や周辺の清掃を行う「新口町自治会」。毎年交代する班長が、各家の軒先でプランターの花苗を育てるといった独自の活動にも取り組み、町内全域の景観向上や美化に貢献しています。

### 清掃と植栽で駅前を美しく

橿原市の北部に位置し、多くの住宅が軒を連ねる新口町。この町内には地域の人々の交通の要所、近鉄新ノ口駅があります。駅前西ロータリーの中心にあるのは、色とりどりの花で彩られた美しい花壇。この駅周辺の花の植え替えや清掃、定期的な水やり等を行っているのが、新口町自治会の皆さんです。今日は年に2回(5月・11月)ある花の植え替え作業の日。新ノ口駅の駅前に、赤、白、ピンクの鮮やかなペゴニアの花苗や肥料、プランターを積んだ軽トラック3台が到着しました。集まった約40人のメンバーが荷台から下ろすと、花壇の除草と花植えを行う班、プランターに培養土を敷いて花を植える班、駅前に捨てられたごみを拾う班に分かれて作業が始まります。

「色」ことに固めるときれいに見えますよ「白い花は真ん中がいいね」と声を掛け合う様子はチームワーク抜群！一方で、「実は半分以上のメンバーが、今日新たに活動に参加しているんです」と会長の橋二平さんは話します。

新口町自治会の植栽活動のメンバーを構成するのは、毎年継続的に参加している会員と自治会役員に加え、一年ごとに交代する計23班の自治会班長。そのため、活動は日曜日に行うことが多く、幅広い世代が参加して

令和5年度には「緑綬褒章」を受賞しました。

橋さんは、「活動を始めて約20年。この地区の伝統として認知されつつあり、私たちの代で途絶えさせてはいけないという思いを持っています。これからも継続していきたいです」と思いを語ります。実際に、活動の継続のため、新しく着任した班長に活動内容をわかりやすくまとめた資料の配布や、花壇の水やりの自動化など、会員の負担を軽減する工夫を進めています。

一年ごとに大半のメンバーが入れ替わるといって、自治会特有のシステムを独自の強みに変え、「花いっぱい」の輪を広げ続ける新口町自治会の皆さん。その根本にあるのは、皆さんの地域に対する揺るぎない誇りや愛情であることが、花が彩る美しい駅前からも伝わってきます。地域の特徴を活かした活動には、これからのまちづくりや環境活動の参考になる要素が凝縮されています。



プランターの花植えも手際よく完了！



メンバーの自宅前にある色鮮やかなプランター

いるそう。

「新口町は地域の植栽・清掃活動に町

ことだと思っています」と話すのは、前々会長で長年活動に参加する北皖一さん。和やかに彩られていく花壇を見つめる眼差しは誇りに満ちています。

### 地域密着の強みを活かして まちを花いっぱい

活動が終わり、みずみずしく花が咲き並ぶ花壇や、ポイ捨てごみが拾われた駅前ロータリーに響く「お疲れ様でした」の声。すると、可愛らしく寄せ植えされたプランターが再びトラックの荷台に詰め込まれます。トラックがプランターを運ぶ先は町内各所のメンバーの家の軒先です。

「活動に参加するようになってプランターの花を育てるうちに、普段からよく花について考えるようになりました」と話すメンバーの皆さん。家の花壇を見せていただく、そこには配られたプランター以外にも大小の鉢植えが道行く人々の心を癒やしていました。

いになるといふ壮大な構想です」と笑顔が輝きます。

### 橿原市は「春を運ぶ」まち 活動は「地区の伝統」

「まち全体を花いっぱいにする」という新口町自治会の一体感ある活動。その原動力は何かたずねると、皆さん「特別なことは何もしていませんよ」と顔を合わせた。こうやって取材をしていただけることが不思議なんです。そのくらい、新口町ではこの活動が定着している。みんなで協力し合っていて続けられてよかったなと思います」とこれまでを振り返る北さん。橋さんも、「橿原市は『春を運ぶ』と言われたくらい昔から花に親しみのあるまち。新口町のDNAですな」とうなずきます。

そんな「当たり前」で続けてきた活動は今年で24年目。活動は県内外で高く評価され、平成27年度の「グリーン・グリーン実践者表彰」、令和3年度の「地域環境美化功績者表彰」の受賞に続き、





綿畑で支柱立てを行う会員の皆さん

# 山の辺の道ファンクラブ (天理市)



代表  
竹田 則康さん



副代表  
田谷 征雄さん



事務局長  
安岡 加代子さん



運営委員  
久保田 有さん

## 美しい里山風景を守りたい！ 会員共通の思いが地域を豊かにする

山の辺の道をこよなく愛する人たちが集い、里山の景観維持のために尽力する「山の辺の道ファンクラブ」。会員同士が協力し合いながら、沿道の耕作・植栽活動を続けています。

### 人々が集う四季の里山活動

奈良盆地の山裾を縫うように南北に走る古道、山の辺の道。道沿いには「古事記」「日本書紀」「万葉集」に登場する名所旧跡が数多くあり、高台からは奈良盆地の雄大な景観と、龍王山から連なる山並みを遠望できます。この山の辺の道をこよなく愛する人たちが集い、訪れる方々に里山風景を楽しんでもらうため、週に2回、耕作・植栽活動を行っているのが、「山の辺の道ファンクラブ」の皆さんです。

ある秋の活動日。景行天皇陵東側の活動場所に、約20名のメンバーが集まってきました。皆さん和気あいあいと声をかけ合い、本日の作業である、古道沿いに植えた綿花の支柱立てや、大和橋の剪定、草刈りが始まります。

「これが綿の花、きれいでしょ。こっちは実はもうすぐ弾けてふわふわの綿になるの」と事務局長の安岡加代子さんが示す先に並んでいるのは、ピンクの花や柔らかな実をつけた綿の木々。綿が収穫できる10月下旬〜11月の期間には、活動日に「山の辺の道祭り」を開催し、ハイキングに訪れる方々に綿摘み体験などを提供するそうです。

同クラブは秋以外にも、春は菜の花、夏は花しょうぶなど、古くから日本人に親しまれてきた植物を一年を通して栽培。特に活動場所の広場で毎年春に

からの差し入れの柿でほっと一息。おしゃべりに花を咲かせます。

「里山風景の維持ということで始めた活動ですが、人とのつながりを広げてくれたと強く感じます」と話す田谷さん。「この活動が楽しみ」と言ってくれる会員の紹介や口コミのおかげでメンバーは70名以上になりました。こんなにうれしいことはありません。普段は家の中にいる人でも、一緒に楽しく汗をかける活動にしたいです」と爽やかな笑顔。

会員の久保田有さんも、「このクラブの魅力は親しみやすさ。私は県外から移住して来ましたが、活動を通じて新しい居場所が広がり、この出会いに感謝しています」とうなずきます。

「山の辺の道の里山景観が大好き」という思いでつながる山の辺の道ファンクラブの皆さん。広い空、青垣の山裾で、古くから親しまれてきた豊かな里山の四季を守る活動は、これからも多くの人々を笑顔にすることでしょう。



木のオブジェや看板も会員の手作り



活動場所は日々きれいに整備

開催する「菜の花祭り」では、コンサートや多彩な体験コーナーを企画し、毎回多くの人でにぎわいます。

「訪れる方々に『きれいですね』と喜んでもらえるのがやがいがいいんです」と輝く笑顔で活動する皆さん。2時間ほ

どの作業を終えると、立てた支柱で成長した綿の木々が、真っ直ぐ空を向きました。

美しい風景を残したい！  
さまざまなお出ででクラブが発展

同クラブが結成したきっかけは、平成28年に開催された「全国菜の花サミット in やまと」でした。現副代表の田谷征雄さんと現事務局長の安岡さんが、このサミットの前年度より山の辺の道に菜の花を植栽するイベントに携わり、「この美しい山の辺の道の里山景観をこれからも維持していく団体をつくらう」と一念発起。その後、志を同じくする約10名の仲間が集まって平成30年に結成しました。「山の辺の道の景色が大好き」な人たちの集まりであることから、会の名前は「山の辺の道ファンクラブ」に決定。しかし、活動を開始した当初は、雑草が生い茂る土地や休耕地のぬかるんだ土壌をどのようにして花畑や耕作地に変えるか、

入会してくださった方々がいて、大変助けられました」と感謝の思いを語る安岡さん。代表の竹田則康さんも、こうして地元から入会したメンバーの一人です。活動のない日や台風の後には、活動場所の様子を見てもらうなど、元のメンバーの尽力はクラブにとってかけがえのないものになっています。

山の辺の道を守る思いが、地域内外の方々を巻き込み活動を積み重ねてきた同クラブ。現在は毎年花しょうぶがきれいに咲く一帯も、泥田から4〜5年の年月をかけて作り上げた景観です。「最初に花が一面に咲いた時はとても感動しました。多くの方が写真を撮りに足を運んでくれた時はうれしかったです」。そう話す竹田さんの表情は充実感に満ちています。

会員同士のつながりを大切に  
笑顔を生み出す里山景観を

一日の活動後は、手作りの休憩所の下、クラブを応援する地元の農家さん





土を掘り起こす作業は力仕事



主要道路沿いの植栽活動も長年継続

「にぎやかでしょう。時代の流れで、昔は当たり前だった近所付き合いが希薄になってきた中でも、植栽活動を通して、コミュニケーションを取り合い、

平成12年に土地開発が行われ、大幅に移住者が増した榛見が丘地区。活動のきっかけは、元々この地区に住んでいた高野さんに、引越してきたシニア世代から「私たちが地域のためにできることはないですか」という声が多多く届くようになったことでした。そこで平成18年、自治会の設立と同時に「地域内を花でいっぱいにする」という目標とした「生粋クラブ」が発足。地区の何もなかった区画で土壌改良を行ったり、ブロックで囲いをつくらせ、メンバーで協力して花壇を完成させ、春と秋に花の植え替えを行うことに。規模が大きくなる中で、さらに地域一丸となって活動を続けられるよ



「重労働やけど、これをやると土の質が変わるんよ」と話す2代目会長の奥中孝次さん。言葉のとおり、花壇の土が見違えるほど柔らかくなっていきま

「重労働やけど、これをやると土の質が変わるんよ」と話す2代目会長の奥中孝次さん。言葉のとおり、花壇の土が見違えるほど柔らかくなっていきま

### 活動がはぐくむ地域の絆

### 地域と歩む植栽活動



花壇にパンジーの苗とチューリップの球根を植える会員の皆さん

信頼関係を築くことができればと思います」と話す高野さん。奥中さんも「日頃から顔がわかる関係なら、いざという時に助け合える。近くにある公園で遊ぶ子どもに顔を覚えてもらえたり、地域での見守りにもつながっていると感じます」と生き生きとした表情で話します。

植栽活動が地域の絆をはぐくむ要となることで、活動の垣根を越えて交流の輪が広がっています。

## 植栽活動は地域の交流の源！ 垣根を越えてはぐくむコミュニケーション

清掃・植栽活動を精力的に行い、地域の美化に貢献している「榛見が丘自治会（生粋クラブ）」。

清らかな風が流れる秋空の下、「おはよう！今日はよろしくね」と声をかけあいながら、約20名の会員が集会所「ひまわり会館」に集まってきました。この日はパンジーの花苗とチューリップの球根の植え付けを行います。会長の大東由明さんと初代会長の高野孝則さんから「チューリップを植える深さは、球根の高さの約7倍」「パンジーはチョークの印に合わせて植えて」といった明確な作業の説明があり、皆さん準備万端。ひまわり会館の周辺と、主要道路沿いの花壇で植え替えを行うため、2班に分かれて活動開始です。

ひまわり会館の周辺にある花壇は、ひと夏を越えて花壇横に植えられた芝がびっしりと根を伸ばした状態。ここです。まずは球根を埋める土壌を作るため、鍬で豪快に土を掘り起こしていくメンバーに、「かっこいい〜」さすがや！と、周りから明るい歓声と笑い声が響きます。掘り返した土は丁寧に葉や根

### まちの彩りを添える花々 協力して植栽

閑静な住宅地が広がる宇陀市榛原榛見が丘地区。年2回の大掃除で地域の3つの公園と主要道路の草刈り・剪定・ごみ拾いを行うほか、年に2回、花壇の整備や花の植え替え活動で、地域の美化に貢献しているのが「榛見が丘自治会（生粋クラブ）」の皆さんです。



2代目会長・生粋クラブ代表  
奥中 孝次さん



初代会長・生粋クラブ代表  
高野 孝則さん



令和5年度会長  
おおひがし  
大東 由明さん

# みんなで取り組む！「なら四季彩の庭」づくり



## 地域の庭づくりをサポート！ なら四季彩の庭づくりアドバイザー制度

景観デザイン、造園、植物の育成・管理等について、実務的・専門的知識を有する方々を「なら四季彩の庭づくりアドバイザー」として派遣します。

### 対象となる事例

植栽等による魅力ある地域づくりを目的として開催する講習会や勉強会等

### 派遣対象者(申請者)

自治会・学校・事業者・地域グループ等、地方公共団体



## なら四季彩の庭づくりパートナー花壇制度

ご家庭の道路に面したお庭や、お店や会社の花壇など、県民の皆さんがきれいに管理されている花壇を「なら四季彩の庭」づくりパートナー花壇として登録し、花による彩りあるまちづくりに参加しませんか？

### パートナー花壇の要件

- ① 県内で敷地に立ち入ることなく、誰でも見ることが出来る場所に設置していること
- ② パートナー花壇の管理者自身が所有・管理する場所、または所有者・管理者の許可を得た場所であること
- ③ 合計面積が概ね0.5㎡以上であること



フラワーラベル

### パートナー花壇に登録しよう！

パートナー花壇に登録いただいた方に以下の特典があります

- ① 「パートナー認定証」を発行します
- ② 「オリジナルフラワーラベル」を配布します
- ③ 皆さまの花壇を県の「なら四季彩の庭HP」で紹介します(任意)



認定証

### ■ 申請方法等の詳細

アドバイザー制度・パートナー花壇制度について

「なら四季彩の庭」公式HPに詳細や、  
申込用紙を掲載しています。

皆さまのお申し込み、お待ちしております！

専用ホームページ ▶

なら四季彩の庭 🔍



パートナー花壇については、  
右記QRコード「e古都なら」からも  
お申し込みいただけます。

e古都ならQRコード ▶

